

(メッセ海外通信 VOL. 44 2018 年 1 月→3 月号掲載記事)

## Creative Shop

下関市総合政策部国際課

(釜山広域市派遣職員)

阿部 さおり

アンニョンハセヨ！釜山を代表する観光地の一つである南浦洞(ナンポドン)の光復路を歩いていると、とても気になるお店ができていました。店内をのぞいてみると、釜山の観光名所である甘川文化村がモチーフになったバッグや折り畳み傘があったり、釜山広域市の魚である「サバ」をキャラクター化した商品があったりと、お土産にしても喜ばれそうな商品がたくさん置いてありました。とても気になったので調べてみると、釜山市が行っている創業支援事業の一環でつくられた店舗であることがわかりました。

この店舗の名前は「Creative Shop」と言い、釜山にあるベンチャー企業の優れた製品を展示して販売する為に、昔の光復洞郵便局の建物内部を改装して、2017年3月に開業しました。場所は、地下鉄南浦駅の7番出口から出て、光復路方面に歩いていくと右側にあります。

1階の売り場では、ベンチャー企業が作ったアイデア製品、釜山観光記念品など1,000点余りが展示販売されています。この売り場では、事業者登録をして7年以内の釜山のベンチャー企業がつくった製品で、4か月毎に行われる審査会に合格したもののみが販売を許可されます。審査会では、事業者が実際に商品を持ってきて、その商品のストーリーなどをプレゼンテーションします。毎回10社程度が選ばれますが、売り上げが伸びないと製品が撤去され、他の製品が代わって置かれるという仕組みになっています。

2階部分は「創業企業の遊び場」という名前がついており、カリグラフィー、レザークラフトなどの講座運営、毎月異なるコンセプトでつくられた作品の展示販売等を行っています。また、毎月最終週の週末には、12時から18時までフリーマーケットが店舗の前で行われています。

市の担当者によると、事業者がこの店舗を利用するメリットは2つあり、1つは本来販売者が負担しなければならないクレジットカードの決済手数料を釜山市が負担すること、2つ目は、施設利用料が販売額の20%と一般的な店舗の施設利用料の半額に抑えられているということです。

現在、この店舗にある製品を購入する方の25%は外国人ということで、年内には中国人観光客が決済に利用する「アリペイ」の導入を検討しているとのこと。

多くの人の関心を引く魅力的なレイアウトも店舗の特徴の一つです。釜山に行ってお土産を探す際には、是非のぞいてみて下さい。きっと気に入る商品に出会えると思いますよ。

